

いきいきボランティア No.5

市内のボランティア団体として登録し、助け合いの精神をもって様々な活動が続ける皆さんを紹介するコーナーです。
問合せ ボランティア市民活動センター ☎0475 (89) 2121

〈主な活動〉
聴覚障害者との交流、イベントへの参加協力

聾者とのコミュニケーションを目的に、社会福祉協議会が開催した手話講習がきっかけとなり、卒業生が手話のサークルを発足させました。講師の鈴木順子さん(松尾)ご自身、耳が不自由で、会の発足時から手話の指導をしています。「50%の



手話で会の名前「てことば」を表現しました
(手話サークル・てことばの会)

手話サークル てことばの会

会設立 平成6年
代表 小安吉枝さん(下横地)
会員数 10人
手話学習 (毎週木曜日午前10時～正午／白幡老人福祉センター・成東保健福祉センター)

理解力かな」と、少し辛口評ですが皆さんは、とにかく明るい。「暗い表情では話も暗くなりますから」と、表情豊かに接することの大切さを教えていただいたようです。
「聾者と健聴者が一緒に生活できる世の中になるのが夢」という皆さんの想いが実現できるのもそう遠くではないような気がしました。

手話&手話 ひまわり

会設立 平成8年
代表 中村 朝子さん(富口)
会員数 18人
手話学習 (毎週水曜日午後7時～9時／成東中央公民館)



みんなでアイラヴユウ! (手話&手話 ひまわり)

編集後記

▼秋晴れの空を仰いで、おいしい空気を胸いっぱい吸ってみました。すっかり秋めいてきましたね。市民総での体育祭もお天気に恵まれて無事に終り、一息といったところででしょうか。今月はロードレース大会も予定されていますが、参加者の筋骨たくましい姿を見ると、日ごろのスポーツへの関心が強いことにいままながらに驚いています。▽運動はやっぱり良いことはわかっていいるのですが、どーもね・・・はじめての一步が踏み出せないのです。(K)

▼数年前、私は火災現場に行き合わせたことがあります。そこでは、地元消防団員が私服姿で消火活動をしていました。足元はスニーカー。水浸しで泥だらけになっていました。▽今年6月29日の山武操法大会に始まった私の消防団員の取材は10月12日の全国大会で終了。しかし、団員の方々は、地元消防団員としての役目が続きます。地元の安全と財産を守るため、日々活動する団員の皆さんや消防署の方々に敬意を表すと共に、心からすべての無事を祈ります。(T)